

テンケンウォッチャ基本的な設置の流れ

※ご使用の前に、テンケンウォッチャアプリ(以下、アプリ)をダウンロードしたスマートフォンをご準備ください。



電波状況によって、受信機の反応がアプリに反映されるまで遅延が生じる場合があります。

本来の性能を発揮できない、または機能停止につながることがあり、ご注意いただきたい内容です。

もしものとき

ļ

電波環境

本文中の

表示について

https://bitpeeps.co.jp/tenken-watcher/trouble





連絡先: info1@bitpeeps.co.jp







ベル配線の注意点

- 消防設備士甲種4類 資格者のみ行ってください。
- 点検終了後に、配線を元に戻して必ず鳴動確認をしてください。



モジュールの取付方法



受信機が照明や太陽光など照らされている環境では誤動作を起こす恐れあり。 設動作を起こす場合は、受信機に光が当たらないようにしてください。



<u>o</u> •

20







点検画面

- モジュールが検知した表示を、点検者のアプリから確認。
- アプリから接点の連動・手動出力などの指示を送信。





編集画面に進み、スイッチボットの機器名を設定。 BLE MACは、SwitchBotスマホアプリを閲覧 8 カメラの設置

テンケンウォッチャPROをご契約の場合、ご利用可能です。



治具のマグネット部でピタッと設置 または、養生テープなどで貼って設置。

● 設置後に、アプリでカメラ設定を する。(6ページ参照)



カメラで画像を確認。 撮影も可能。



液晶の表示などを確認。 (静止画のみ)

[[] 点検開始前に、アプリで動作確認を行ってください。

9 スイッチボットの設置





- ピピピと反応音を返す。 ● 送受話器の擬似回路を持って
 - おり、通話確認が可能。



全上のご注意



- ●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然 に防止するために、いろいろな表示をしています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示について



藝告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 設置・据付をするとき 使用するとき

■ 水にぬらさない 本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないよう にご注意ください。火災・感電の原因となります。



■ 指定外の電源電圧で使用しない 表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでくださ い。火災・感電の原因となります。

■ 指定外の電源ケーブル・アダプタを使用しない 付属の電源ケーブルまたはACアダプタ以外は使用しな いでください。また、付属の電源ケーブルまたはACア ダプタをほかの機器に使用しないでください。感電・発 煙・火災・故障の原因となります。



■ 電源コードを傷つけない 電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけ たりしないでください。 また、コードの上に重いものをのせないでください。火 災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かな いでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因と なります。

■ 万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグ を抜いて販売店にご連絡ください。そのまま 使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 電源コードが傷んだとき

(心線の露出、断線など)



■ 内部を開けない、改造しない 内部には電圧の高い部分があり、ケースを開 けたり、改造したりすると、火災・感電の原



■ 内部に異物を入れない

因となります。

内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を 差し込んだり、落とし込んだりしないでくだ さい。火災・感電の原因となります。



■ 雷が鳴ったらさわらない 雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらな いでください。感電の原因となります。

汪諒

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定 される内容を示しています。

設置・据付をするとき



■ ぬれた手で電源プラグをさわらない ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



■ 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで ください。コードが傷つき、火災・感電の原因となるこ とがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。